

TAKE FREE

BLUE+ GREEN JOURNAL

Okutama Town Official Magazine
奥多摩町公式タブロイド

奥多摩、
人材募集ストーリー。
You Are Wanted!

#13

Thirteenth ISSUE

You are
WANTED!

奥多摩、人材募集ストーリー。

東京都最大の面積に、人口5000人未満という奥多摩町。

清流と森。ありあまるほどの地域資源を有しながらも、

余白の多いこの町で、暮らすゆしみ、働くよろこび。

町の人たちとポジティブにつながりながら、

地域の活性に貢献する仕事や趣味、ボランティアなどなど。

奥多摩で心豊かに暮らすヒントが詰まった、求人ストーリー。

この町は、あなたを待っている。

Photo/Yukiko Soda, Mariko Yamaguchi (P2, P3, P8)

Text/Yukiko Soda, Miguel Utsunomiya (P2, P5)、

Mariko Yamaguchi (P3, P8)、Taiki Sukigara (P7)



50年以上前、祭りのあとのワンカット。
集落総出で獅子舞を楽しんだ時代



「水と緑のふれあい館」に保管される、原集落の荘厳な獅子たち

消滅の危機にある 伝統の獅子舞を守れ!

「やっぱり常に不安ですね。現在、原集落の獅子舞保存会会員は30名ほど。獅子舞を披露するには最低でも15人必要なんです。だけどこの集落には世帯が10軒ほどしかなくて、高齢化もどんどん進んでいます。なんとかこの集落の伝統である獅子舞を保存しようということで、他集落、町外、年齢性別問わずどなたでも保存会に参加できるルールとなってるんですけど、なかなか人が集まりません」

こう、未来を憂うのは、生まれも育ちも原集落の松島敏明さん。中学生の時から集落の獅子舞に参加し、現在、保存会会長を務める。お祭りなどで見られる獅子舞は地域ごとに独自の継承が成され、全国各地で物語の流れや舞い

方などが異なる。ゆえに、地域ごとに伝統を守っていく必要があるのだが、担い手不足から奥多摩でも消滅してしまった保存会も少なくない。そこで危機を覚えた原集落では、女性に参加できないといった古からの習わしに囚われず、広く参加者を募るという方向へ舵を切った。「毎年9月の第二日曜日に小河内神社で舞うことになっています。その他、地元の催して呼ばれれば都度、舞いを披露するという流れ。毎回、およそ5〜7回ほど練習して本番に挑みます。皆で伝統を継いでいくのは楽しいものですよ」

原の保存会がレパトリーとするのは11演目ほど。長編となると1演目で1時間を超えるものもあるとか。「ですから舞う役割の方は体力が必要でし、演目を覚えるのにも苦労します。そして長年、

笛吹きの方が不足して苦しんでいるんです」獅子舞には三頭の獅子役のほか、唄うたい、囃子、さらなど多様な役回りがあり、中でも笛吹きは重要なポジションだ。松島さんもほぼすべての役回りをこなせるが、この笛だけができないという。「楽譜がありませんので、先輩の演奏を見て覚えるしかありません。ようやく音が出るようになっても一人前となるには一年以上かかります。だから笛吹きがどこでも不足して、それが理由で獅子舞を保存できなくなる、というケースも多いんです」

練習は原にある生活館で行い、練習の日時は会員の都合によって決めてくれるケースもあるとか。広く開かれたこの保存会で、日本古来の伝統である獅子舞の魅力に触れてみるのはいかがだろう。



原獅子舞保存会



舞いで使われる小道具



獅子舞保存会の練習風景
©原獅子舞保存会

どんな会？

奥多摩・原地区に受け継がれる獅子舞を守り、演者として舞いを披露

募集要項

●応募資格 不問
●対象年齢 不問
●活動頻度 年に数度の本番前、5〜7回程程度の練習
●募集人数 可能な限り大勢の方
●問い合わせ 原獅子舞保存会 松島 tel: 090-8558-0451



株式会社 東京・森と市庭

どんな会社？

幼稚園、保育園へ東京産の杉・檜を活かした木製品の開発、木育体験事業の提案

募集要項

●募集職種 営業 ●募集人数 1名 ●勤務地 自宅（リモート）および、奥多摩本社（奥多摩町氷川075）
●雇用形態 正社員 ●給与・能力・経歴により応相談 ●待遇 福利厚生、社会保険完備、健康診断あり
●休日休暇 土日祝、GW、夏期（年末年始） ●資格 普通自動車運転免許（AT）を所持している方
●対象年齢 不問 ●活動領域／雇用形態（正社員）に1人1名程度奥多摩本社勤務を想定
●応募方法 履歴書（形式不問）を送付の上、メールにてお申し込みください。
件名に「奥多摩町と市庭人材採用」と明記してください。E-mail: info@montichiba.tokyo.jp
問い合わせ 株式会社東京・森と市庭 担当 占部 雅樹 tel: 03-6432-9718（オホノヘ）

木育のメリットを、 多くの人に知ってほしい

「常に遊び心を持っていて、子供好きな人がいいですね」と笑顔で語るのは森と市庭で取締役と営業部長を兼務する菅原和利さん。森と市庭は2013年に奥多摩町で設立され、「森とあそび、木とくらす」をモットーに掲げ、部内を中心に幼稚園、保育園へ東京産の杉・檜を活かした木製品の開発、木育体験事業の提案、制作を行う。今回、新たに「営業担当」を募集すると聞き、どんな人材を求めているのか話を聞いた。

「幼稚園保育園で使用する遊具の規制は比較的緩やかなため、どんな遊具がいいのか各園の方向性に合わせることができる。遊具の提案だけでなく社有林を使った遠足や木に触れるワークショップなども提案。園とは一時のおつきあいではなく、先生や子供たちも私たちのことを先生として見てくれるようになる。その点ではコミュニケーション能力も必要だと

思います」

森と市庭には時代を反映させた社内の制度もある。各人にあった勤務形態を取り入れ、奥多摩町外に住み、自宅で仕事をしながら一か月に数回だけ奥多摩に出社、という社員もいるという。

「仕組みと制度は人をベースに考えている。私も育休を一年間取りました。今回も町外からの応募も歓迎です。自分のフィールドで森と市庭をPRしてもらい、なんてこともイメージしています」

菅原さん自身が育休制度を利用したことも、皆が意識を変え、自主的に動き始めたきっかけとなったそう。皆が働きやすい職場こそ、未来のビジネスの種を生むと菅原さんは信じている。

「会社の歯車になるのではなく、バイタリティがあって個人事業主でもやっていけるような人が来てほしい。僕は仕事に人を当て込もうと考えていません。例えば次に入ってくれる人が音楽が好きであればそれを木育に活かせる

んじゃないかと考えてほしい。森や木は素材。個人の才能と掛け合わせると新たな価値を生み出すことができますから」

営業職に求められるのは数字で結果を残すということ。加えて、仕事に対して常に楽しむことができ、目標への道を自ら作っていく力に期待していると話す、菅原さん。社屋は、気持ちの良い風が吹き、四季折々の自然を体感できる奥多摩の森の中。働く場としても最高の環境だろう。自分の力を発揮し、新たなことに挑戦するにはまたとないチャンスかもしれない。

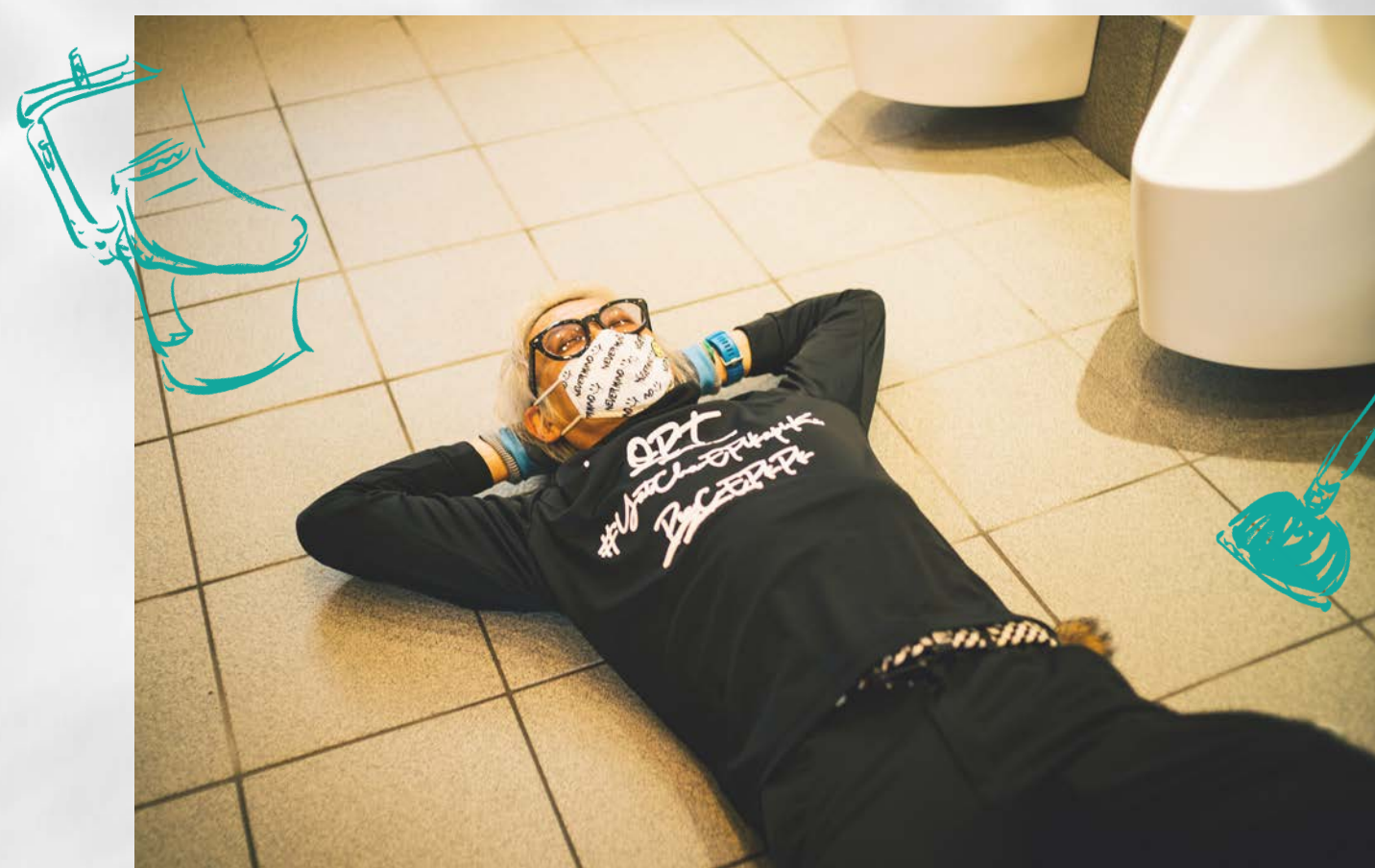
木材を利用して
子どもたちを
シアワセにしよう！



木に囲まれた温もりのあるオフィス。窓の外には奥多摩の大自然が展開する



1.町田市内の幼稚園に作ったツリーハウス。園のシンボルとなった 2.清瀬市内の幼稚園に作った大型室内遊具。ヒノキの香りが最高 3.社有林でスタッフ全員集合



日本一きれいなトイレを維持する 日本一カッコいいトイレ清掃員

奥多摩町の魅力について、どう感じたか。そんな質問をこの町の観光客に投げかけたとしたら、どんな回答が出てくるだろう。美しい自然、アウトドアアクティビティの豊富さ、地域住民の人の良さ、わさびやジビエなどの特産品……などなど、多様な意見があれど、「トイレのキレイさ」を挙げる人もきつと少なくないはずだ。そう、奥多摩町は、「日本一観光用公衆トイレがきれいなまち」。そしてそれを支えるのが、日本一カッコいいトイレ清掃員たち「OPT（オビト）」である。オビトとは「オクタマ・ピカピカ・トイレ」の略。町内21か所のトイレ清掃業務を町から委託する奥多摩総合開発株式会社の従業員で構成されたチームのことだ。金髪にサングラス、モノトーンで揃えたイケイケのユニフォーム。その姿は、バンドマンか、アーティストか、お笑い芸人か……少なくとも、一般的な清掃員のイメージとはかけ離れている。

「トイレ清掃員が持つ、負のイメージ。汚い、臭い、ださい、怖い、かっこ悪いおっさん。そんなものをすべて真逆に覆したいと思ったんです」

チームを率いる大井朋幸さんは、6年前にオビトとして活動を始めた理由をそう話す。鬱病や休職を経て、トイレ清掃員として働くことになった大井さん。元来の潔癖症もあり、ただただ辛いだけの仕事への意識が変わったきっかけは、当時小学1年生だった娘の一言だったという。

「うんちとか汚いとか、父親の仕事のことで友達にからかわれたみたいで。泣きながら家に帰ってきて、なんでそんな仕事してるの？って。毎日吐きながら泣きながら仕事して、体重も激減して、いつ辞めでもおかしくない状況だったのに、この瞬間に、不思議とスイッチが入った。絶対に日本一カッコいいファンキーなトイレ清掃員になってやろう、と」

そこからの行動力と活躍ぶりは圧巻の一言。オビトという愛称を付け、テーマソングを制作。全員お揃いのポップなユニフォームに身を包み、SNSを通して日々の活動や思いを発信。ファンや協力者がどんどん増え、TVや新聞でも盛んに取り上げられるようになった。奥

多摩の小学生たちと課外授業で一緒に清掃やゴミ拾いをするなど、その活動は、もはや清掃業務だけに留まらないが、もちろん日々のトイレ清掃も徹底。手作業にこだわり、じっくり時間をかけて隅々までピカピカにするスタイルだ。

「仕事でやっているだけなのに、ありがたいって、声をかけてみんな感謝してくれるんです。それがやっぱりやりがいですよ」

そんなオビトでは現在、従業員を募集中だ。「トイレ清掃はもちろん、活動そのものを楽しんで広げていく手伝いをしてくれるような人が来てくれたら嬉しい」と語る大井さんは、誰もが認めるカッコイイお父さんであることはもちろん、今や地域のヒーロー的な存在。ヒーローものというのなら、現在、特にピンクの担い手を募集中だそうだ。

トイレ清掃員は、
地域のヒーロー！



1.手洗い用ソープには大井さん自作のコピー（ひとつひとつ異なる）が貼られている
2.町内を移動する白いワゴンカーには「日本一観光用公衆トイレがきれいなまち」のコピーが
3.ユニフォームのデザインもオリジナル。髪色は自由



OPT

どんな仕事？

奥多摩町内21か所のトイレ
清掃業務。1日に10か所前後の
トイレを手作業で清掃する

募集要項

●募集職種／清掃員 ●募集人数 1名
●勤務地 奥多摩町内各所 ●雇用形態 バイト
●給与／時給 月 1,080円、日給 100円 ●勤務日数 週2〜3日
●勤務時間 7時45分〜16時
●資格／普通自動車運転免許（AT可）
問い合わせ 奥多摩総合開発株式会社 担当 中井 tel: 0428-83-2338



奥多摩わさび塾

どんな塾？

奥多摩に受け継がれるわさび栽培のノウハウを約2年の間、実地作業を通じて学べる場

募集要項

※令和5年度18期生の募集は終了。19期生の募集は2024年12月より受け付ける予定
●受講資格／町内在住者、または町内でわさび栽培をしている方
●研修回数／全10回予定（産学及び研修）
●参加費／無料
●募集人数／10名
問い合わせ 奥多摩町観光産業課 tel:0426-83-2295

奥多摩の特産品を守る、 未来のわさび農家を大募集

奥多摩の特産品といえば、わさび。江戸時代にこの地で生産されたわさびが将軍家に献上されたという文献が残っているほど、その歴史は長い。切り立った山々から流れ落ちる清流は通年、水温が低く保たれ、わさびの栽培にはうってつけの環境。古くから、奥多摩から出荷されたわさびは高級食材として重宝され、町内外の人々に愛され続けている。一方で、生産者の高齢化によって奥多摩におけるわさび栽培の伝統が危機に瀕している。奥多摩町役場・農林水産係の小峰淳一さんは現状をこう説明する。

「奥多摩にはわさび田がたくさんあるんですが、目の前まで車でたどり着けない場所も少なくありません。わさび田へアクセスできるよう

に町では26か所にモノレールを敷いているのですが、これに乗っても片道2時間かかるケースもあって高齢者には生産の継続がなかなか難しい。今では町内でわさびの生産を生業にしている業者さんが2〜3軒ほど。ですから奥多摩の伝統を継いでいくために、町としても後継者を探している状態なんです」

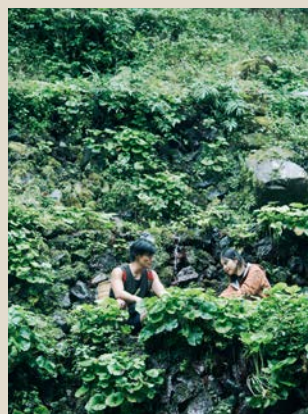
そんな事情を背景に町ではわさび栽培のイロハを学べる「奥多摩わさび塾」を設置。わさびに精通した生産者のもと、約2年間の実地作業でわさび栽培に従事する人を募集している。「わさびは水が命ですから、まずは水を引くため、わさび田の整備。植え付けた後は水を美しく保つよう管理していく。わさびは植え付けから収穫まで1年半以上かかるので、その間、2か月に一度程度、わさび塾の講習で様々な状況への対応を学んでいただきます」

奥多摩町民であり、卒業後はわさび栽培に取

組む予定があれば、無料で塾生となれるシステム。町の伝統を継承するというやりがいも感じられるはずだと小峰さんは話す。奥多摩のわさびをキッチンカーなどで提供し、その美味しさを広く紹介する「わさびブラザーズ」も、わさび塾の卒業生。角井仁さん、竜也さん兄弟は現在、わさび農家として日々、奮闘中だ。「台風、大雨などの後、復旧させるのが大変だったり、わさびは繊細ですし、上手に育てていく上で謎の部分もまだまだ多い。きれいな水が常に流れるよう管理するなど苦労もありますけど、奥多摩のわさびをぜひ多くの人に味わってほしいという思いが強い。TOKYO WASABIとして世界にもこのわさびを広めていきたいんです」



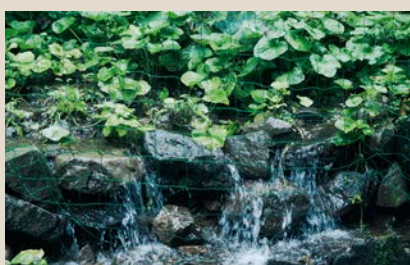
茎の部分が真っ直ぐなわさびは、商品として高値で売買される



山の傾斜を利用したわさび田は、景観としても非常に美しい



奥多摩が誇る
名産品をあなたの手で！



わさび栽培のキモは、美しい水が絶えず流れる環境作りだ



だれでもアーティスト わくわく

年齢性別、
障害の有無問わず
友達ができる！



小道具や看板はすべてお手製。あるものを活かす、エコな演劇を目指したいという



町内外から多くの観客が訪れた。継続的な活動で、奥多摩の新しいコンテンツになりそうだ



©鈴木慎之介

町の人たちが町で演じる、 地産地消の舞台

春暖の好天に恵まれた3月のある日。いつもは静かな山間の集落に歓声がこだました。奥多摩町海沢にある古民家を舞台に、演劇が催されたのだ。「注文の多い料理店」ならぬ、「注文の多い古民家食堂」という演目に出演したのは、奥多摩在住の4人。発起人である演劇家の鯨エマさん、奥多摩で生まれ育ち、現在は町外の福祉作業所に通う原島匠さん、奥多摩にある障がい者支援施設「東京多摩学園」の利用者である虎太郎さん、菅さん。くわえて、楽しげな音色を奏でるチンドン屋、小道具を担当する黒衣(くろご)、ステージング(振付)など全9名のメンバーの力が結集。古民家の床下を剥がして椅子を並べた手づくりの観客席は、町内外から訪れた人々で満席状態。笑いあり、驚きありの20分間の後、最後は大きな拍手が湧き起こった。「近頃増えているインクルーシブシアターでは、

障がい者の方に対してそのままいいんです、いてくれれば、というのが主流。でも、ちょっと違うと私は思っていて。人を呼んで演劇するからには、作品としておもしろいものにしたいし、当事者が観たときに見世物のように感じるような作り方にはしたくない。みんながそれぞれの個性を活かし合い、補い合いながら、共に作品をつくりあげていきたいと考えているんです」そう語る鯨さんは、演劇に情熱を注ぎ続けてきた人だ。中学・高校時代は演劇部の部活動に打ち込み、卒業後は劇団養成所へ。その後、役者、演出家、劇作家として活躍しながら、自分の劇団を主宰。同時に、副業でヘルパーを始めたのをきっかけに、障がい者や高齢者の演劇鑑賞サポート活動もスタート。そして、劇団員が未経験の高齢者ばかりという「劇団かんじゅく座」を立ち上げたのが、16年前。アマチュア演劇のおもしろさに開眼し、現在も精力的に活動が続けている。一方、プライベートでは二児の母。喘息体質の子どものため、空気の澄んだ奥多摩町に2年前に移住。そして、地域に根ざした新

たな活動として、奥多摩でインクルーシブな劇団づくりを模索しているという。「去年、今年と有志のメンバーを集めて古民家で2回の公演をしましたが、今後はアマチュア劇団として月1〜2回の稽古活動をしていきたい。演劇経験の有無はまったく問いません。ぜひ、年齢性別や障害の有無に関係なく、誰でもお気軽に参加してもらえたら。そして、いずれは奥多摩でミュージカルをやりたいと考えています」演劇に必要なのは、舞台上立つ役者だけではない。脚本、演出、音響、照明、美術、衣装など裏方の力があってこそ、良質な作品が完成する。何ができるかわからないという人でも、参加してみたいという気持ちさえあれば大歓迎だ。「演劇の良さは誰にでも役割、存在意義があること。自己肯定感が低い私でも、演劇のおかげで誰かの人生を演じたり、誰かに喜んでもらえたり、自分の居場所を見つけてこられた。演劇は観るのでもいいけど、やるのはもっと楽しい。きっと世界が広がると思いますよ」



即興的なおもしろさもあったコミカルな演目に観客の目がくぎづけ

どんな会？

奥多摩在住の演劇家・鯨エマさんが立ち上げたインクルーシブなアマチュア劇団

募集要項

●募集内容／市民演劇の参加者募集。出演したい人、演劇に興味がある人、歌やダンスが好きな人、裏方で手伝ってみたい人など。
●応募条件／年齢は小学生以上、上限なし。町内練習場まで来られる方
●活動頻度／現時点で練習日・公演日など未定。今後、集まったメンバーで相談しながら決定。
問い合わせ tel:090-8083-6888
担当:鯨エマ kujiaema@icloud.com



「かもんみゝる」

奥多摩町・障害者地域活動支援センター

どんな仕事？

障がいのある人たちとパンや菓子製造、クラフト制作、清掃、カフェ運営などを行う

募集要項

●募集職種／清掃、カフェ、工房（パン・菓子製造） ●募集人数／数名 ●勤務地／清掃およびカフェは奥多摩町福祉会館内、カフェ・タンポポハウス（氷川199）、奥多摩町地域活動支援センター1内（カフェ・タンポポハウス2内）
（小丹波108）工房は奥多摩町地域活動支援センター1かもんみゝる（稲荷3784）内 ●雇用形態／パート
●給与／時給1080円 ●勤務時間／清掃：8時30分～12時15分、カフェ：9時～16時30分（休憩45分）
工房：早番8時～13時（※注文状況により7時30分の時あり）、通し番9時～16時30分（休憩45分）
●勤務日数／週2～3日（※注文状況により） ●待遇／福利厚生／通勤手当あり（現行による）、
年次有給休暇あり（現行による） ●資格／普通自動車運転免許、A取得見込みも可、福祉系資格所持者尚可
問い合わせ先 かもんみゝる 担当 相田 Tel:0426-85-8277



焼きたてパンの
香りに包まれて働く！



パン製造の作業は基本的に分業。計量を一任されている通所者もいる



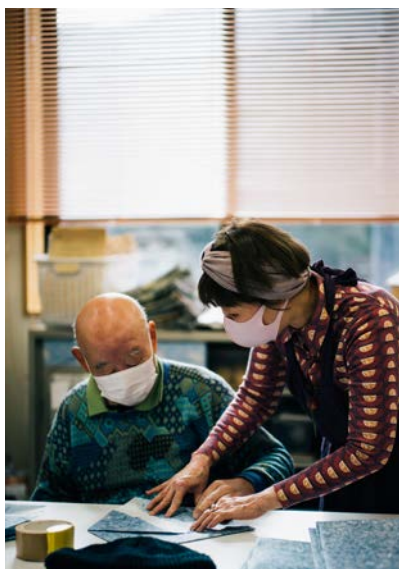
国産小麦やバターを使った無添加のパンは、味がいいと評判



おいしいパンの香りと
笑顔があふれるアットホームな職場

JR鳩ノ巣駅を降りてすぐ。「かもんみゝる」の看板が立つ施設のドアを開けると、芳醇なパンの香りと爽やかなスタッフの声に包まれた。パンやクッキーを販売するこちらは、奥多摩町障害者地域活動支援センター「かもんみゝる」。障害のある人を対象として生産活動・社会活動などの機会を提供するための場所であり、1階がパン・菓子工房、2階が手作り工房「わたげ」になっている。「パン屋さんではなく、あくまで活動支援センターなのでたくさん量は作れません。でも、楽しみにしてくれているお客様のために、毎日丁寧に焼いています。無添加なので日持ちはしませんが、体に良いものを提供したい」と話すのは、パン工房の支援スタッフ、佐藤恵美子さん。毎日、障がいを持つ通所者と支援スタッフが協力して焼くパンは、食パンやクリームパン、シナモンロールなど約10種類。なかには、奥多摩で採れたユズやキウイ、夏みかんなどで作るジャムパン、桃色のあんが美しい「桜あんぱん」などの季節限定商品もあり、ファンは多い。11時30分頃にはずらりと店頭で並ぶほか、古里地区にある子ども家庭支援センター「きこりん」内の「カフェ タンポポハウス コリ」、氷川地区にある福祉会館1階の「カフェタンポポハウス」でも販売。役場や奥多摩病院などでの出張販売も行う。「かもんみゝる」を運営するのは、障がい者支援を行うNPO法人「タンポポの会」。前身である「障がい児を持つ親の会」での手探りの活動から始まり、2007年に町の運営委託を受けて、「かもんみゝる」を開所。当時は別の場所で活動していたが、2020年4月に現在の施設が完成した。その後、充実したのが、手作り工房「わたげ」の活動だ。「毎日少しずつ織り進めています。イベントなどで販売すると喜ばれます」と話すのは、工房の支援スタッフ、酒井理恵さん。「わたげ」では、織物や編み物経験が豊富な酒井さんの支援のもと、ストールやランチョンマットなど、様々な作品を制作。通所者が丁寧に織り上げた作品は、一つひとつ表情が違い、温かい色使いが特徴。使われる糸のほとんどが寄付されたもので、一つとして同じ作品はない。作品は、カフェタンポポハウスのほか、町内で開かれるふれあいまつりなどでも販売している。

そうした地域に根ざした日中活動を行う「かもんみゝる」では、通所者とともに働く支援スタッフを募集中。「障害のある人も活動を支援するスタッフも自分の得意なことや特性を生かし、それぞれがやりがいを見つけて働いてくれています。一緒にかもんみゝるを作り上げてくれる仲間を待っています」と、センター長の相田健さん。人が好き、手を動かすことが好き。そんな人こそ、ピッタリの職場だ。



通所者の得意分野もさまざま。それぞれの個性に合わせて共に作業を進めていく

男女不問!奥多摩町民の
生命を守る、勇敢な団員を大募集

3月某日、奥多摩町氷川にある慈眼寺で消防団第5分団と消防署の合同訓練が行われた。山火事を想定した消火訓練だ。実際に山に向かって放水、また飛び火によって建物に火が移ったと想定してお寺にも放水を行った。団員たちの統率の取れた動きは日頃の訓練があってこそ。奥多摩町ではここ数年、人命に関わる大きな火災は起こっていないが、万が一の時に備えて町を守るため活動に取り組む人たちがいる。消防団長の井上利則さんは「気がつけば入団して37年も経っていました」と笑った。奥多摩に生まれ育った井上さんは18歳の時から消防団員として活躍し、経験を積んではからは副団長を4期、団長に任命されてからは1期が間もなく過ぎようとしている。奥多摩町の安全を守ってきた消防活動の大ベテランだ。「昔は団員の人数が多くて詰所に全員が入れ

ず、若い世代は外で待機なんてこともありましたよ。ですが訓練が大変そうとか、集まりが面倒に思えるといったイメージがあるのかもしれない。近年では人が足りずに困っている状況です」

消防団員の条例定員数は285名だが、現在は254名（2023年4月時点）で慢性的な団員不足となっている。奥多摩町内には消防署が1つ。それに対し消防団は本部分団、第1分団～第6分団の7個分団があり、火災の放送が流れると現場に近い分団の団員が駆けつけるようになっている。時には消防署よりも早く到着し、より地域の特徴を知っている消防団が消火活動や消防水利の確保を行う。そして火災時に的確な活動をするために日頃からの訓練が必要となる。「と言っても強制じゃないですよ。全員が本職を持っていますから。月に2回。集まるのは夜です。機械の点検、規律訓練、防火水槽のチェックなど。でも私自身、消防団に入って時間を重ねることで見える景色が変わりました」



1.飛び火への対応をするための消火訓練。掛け声と同時に放水! 2.火災の連絡の後、団員は消防車で現場に駆けつける 3.統率の取れた消防団第5分団の消防団員たち



と井上さん。人との繋がりも広がり、またそれは本業の仕事にも活かされているという。「まずは入ってみて欲しい。男女問わず募集しています。やっていただきたいことはたくさんある。自分を活かせる道が必ずありますので」火災は起こらないことが一番望ましい。この望まれない出来事に対し奥多摩町民を守るために活動しているのが消防団だ。この美しい風景や人の営みを静かに守っているのが消防団ということを改めて知っておきたい。

一緒に町を
守りませんか？



井上団長は(有)井上土建の経営者でありながら、団員として長年、活躍



奥多摩町消防団

どんな活動？

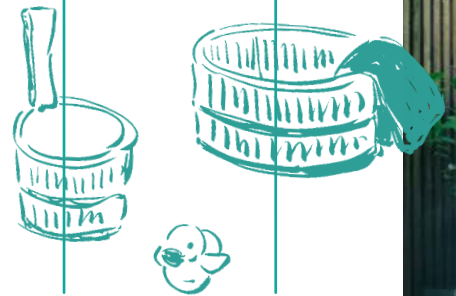
仕事をしながら地域の安全を守るため、火災等の消防活動を行う

募集要項

●応募資格 奥多摩町に在住又は在勤の方
●対象年齢 18歳以上で心身ともに健康な方(性別職業問わず)
●活動頻度 月に2回訓練、大会前は週2・3日の訓練
●待遇／報酬 および出勤手当を支給、公務災害補償、退職報酬金、表彰等の制度あり、制服等費負担
●募集人数 可能な限り大勢
問い合わせ 奥多摩町総務課 Tel:0426-85-4339



もえぎの湯

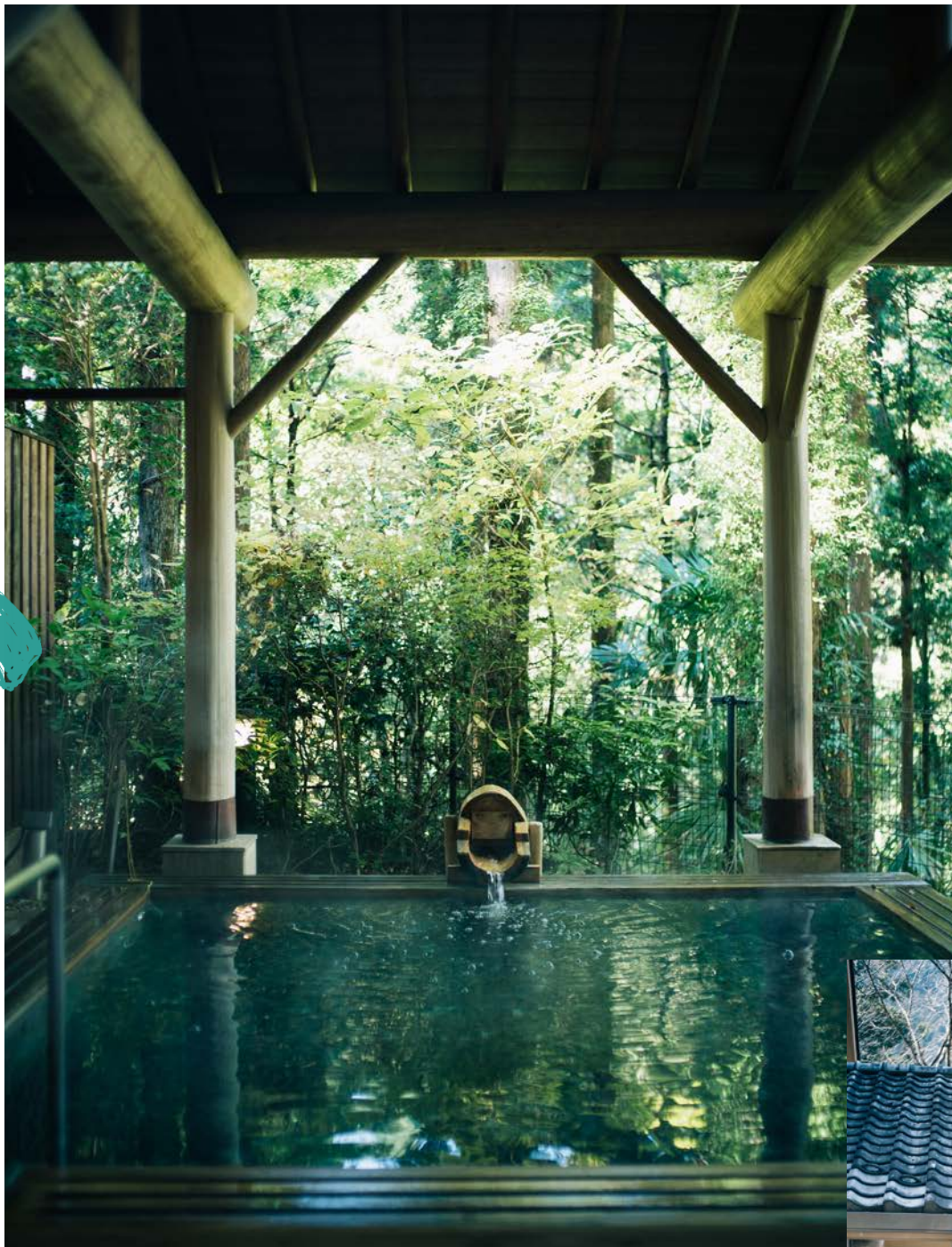


どんな仕事？

人気の温泉施設での清掃、接客、配膳・調理など。パートタイムでの仕事募集

募集要項

●募集職種／食堂、清掃、フロントほか
●募集人数／5名
●勤務地／もえぎの湯(氷川19-1)
●雇用形態／パート
●給与／時給月々7100円(日祝1100円)
●勤務日数／週2〜3日
●勤務時間／8時30分〜20時(シフト制)
問い合わせ もえぎの湯 担当:伊藤 tel:0428-82-7770



2階のレストランでの配膳、調理をするパートも募集中

温泉好きのスタッフが集まっています！



清流で育った美味しい川魚など奥多摩食材を使ったメニューあり



窓の外は美しい木々。緑豊かな環境を身近に感じながら働ける職場だ

就業後は入浴もOK アットホームな職場

行楽日和の休日。登山やキャンプのためにこの町を訪れた人々の多くが、疲れを癒すべく、立ち寄っていく場所がある。JR奥多摩駅から徒歩10分。多摩川沿いに建つ人気の温泉施設「もえぎの湯」だ。

「東京にいながらにして、豊かな緑に囲まれながら温泉が楽しめる。それが一番の魅力です」。

そう話すのは、同館支配人の伊藤裕三さん。伊藤さんは、長年、温泉業界に身を置いてきたベテランだ。遡ること、20年前。当時、会社員をしていた伊藤さんは、アトピーによる体調不良が原因で会社を退職。医療の力を借りるも根本的な治癒には至らなかったが、とある温泉で湯治を行ったところ、みるみると体調が回復したそう。以来、温泉の魅力にハマリ、「恩返し

のつもりで温泉の仕事を続けてきた」という。長野県の白根温泉で番頭として長年勤めた後に、8年前に奥多摩へ。「もえぎの湯」を運営する奥多摩総合開発に入社し、2020年より「もえぎの湯」の支配人を務めるようになった。

そんな伊藤さんが太鼓判を押すのが、もえぎの湯の源泉である「奥多摩温泉」の泉質だ。地下600mにある古生層という地層から湧出する奥多摩温泉は、メタホウ酸系の成分を豊富に含むアルカリ性温泉。毎分29Lもの湧出量を誇っている。「ただの単純泉ではないところが、やっぱり誇れるところかな。肌がすすべになると特に女性の方からよく言われます」。

木々に囲まれた露天風呂と内湯のほか、屋外には気軽に楽しめる足湯スペースも。それに、魅力は温泉ばかりではない。2階のレストランでは広々としたスペースで寛ぎながら、川魚やさしみこんにゃくなど、奥多摩産の食材を使っ

た食事をいただけるほか、季節の野菜や特産品、雑貨などの販売スペースも充実している。

そして、ここで働く人々の笑顔も、癒やしのひとつかもしれない。清掃担当の清水さんは、ここで働いて10年。仕事の合間、お客さんとコミュニケーションをとることが仕事の楽しみのひとつだと、明るく語ってくれた。「もえぎの湯は、老若男女さまざまなスタッフの力によって支えられています。清掃はベテランの女性たちが多いですが、フロントやレストランを担当するメンバーは20〜30代も多く、和気あいあいとした雰囲気もある。接客が好きで明るく元気な方にぜひ来ていただきたいですね」。

なお、従業員は、就業後、希望があれば自由に入浴OK、という嬉しい待遇も。新しい仕事とともに、美肌を手に入れたいという人にとって、うってつけの職場だ。

奥多摩



エトセトラ

キャンプやアウトドア関連など奥多摩ならではの仕事から、人気飲食店のスタッフ募集など、奥多摩の求人情報はまだまだいっぱい。多彩な趣味活動やボランティア情報も要チェック！

仕事編 | 習い事・教室 | ボランティア・地域活動編

01 仕事編

トレックリング

奥多摩駅から徒歩1分にあるサイクリングツアー&レンタルショップ。春頃(4月)〜秋頃(11月)の土日祝日を中心にお手伝いできる方を募集。受付、ルート案内、自転車の乗り方の説明など、レンタサイクルをご利用される方への接客業務。外国人の方の利用もあるので、英語での接客を経験したい方にもおすすめ。服装は自由。元気で明るい方、アウトドア好きな方、英語が少しできる方、お住まいの地域が奥多摩に近い方など歓迎。

- 募集職種／接客
- 募集人数／2名
- 勤務地／氷川197
- 雇用形態／アルバイト、パート
- 給与／時給1080円以上
- 勤務日数／土日祝日を中心に週1、月1からでもOK。※12月〜3月は基本お休み
- 勤務時間／8時30分〜12時、8時30分〜14時、8時30分〜17時
- 待遇・福利厚生／試用期間は10日間勤務(雇用条件は同じ)。交通費は往復1300円までは全額支給。スタッフ用Tシャツまたはポロシャツを1枚支給。

問い合わせ：トレックリング
担当：出口 tel.080-1024-4617
info@trekking.jp

せせらぎの里美術館

多摩地域にかわりのある作家や作品を年間4〜5回展示する美術館。美術館スタッフを募集。

- 募集職種／美術館受付、接客、管理
- 募集人数／1名
- 勤務地／川井53
- 雇用形態／パート
- 賃金／時給月々〜1080円、日祝1100円
- 勤務日数／週1〜2日
- 勤務時間／9時30分〜17時

問い合わせ：奥多摩総合開発株式会社
担当：中井 tel.0428-83-3338

川井キャンプ場

広い河原が自慢のキャンプ場。場内清掃等のスタッフ募集。

- 募集職種／清掃
- 募集人数／2〜3名
- 勤務地／梅沢187
- 雇用形態／パート
- 賃金／時給月々〜1080円、日祝1100円
- 勤務日数／週2〜3日
- 勤務時間／8時30分〜17時

問い合わせ：川井キャンプ場
採用担当宛 tel.0428-85-2206

氷川キャンプ場

敷地内には大きな巨木がたくさんあり、奥多摩の大自然を満喫できるキャンプ場。場内での清掃、町営氷川駐車場の管理、接客スタッフを募集。

- 募集職種／清掃、駐車場の管理、接客
- 募集人数／2〜3名
- 勤務地／氷川702
- 雇用形態／パート
- 賃金／時給月々〜1080円、日祝1100円
- 勤務日数／週2〜3日
- 勤務時間／8時30分〜17時

問い合わせ：氷川キャンプ場
採用担当宛 tel.0428-83-2134

はとのす荘

眼下に鳩ノ巣溪谷を望む宿。そこに併設するイタリアンでのスタッフを募集。

- 募集職種／レストラン配膳
- 募集人数／2〜3名
- 勤務地／棚沢662
- 雇用形態／パート
- 賃金／時給月々〜1080円、日祝1100円
- 勤務日数／週2〜3日
- 勤務時間／7時〜11時、16時30分〜21時

問い合わせ：はとのす荘
採用担当宛 tel.0428-84-7123

合同会社クアラ

氷川キャンプ場の森の中に佇む一軒家カフェ「カフェアラ」のほか、グランピングやオリジナルグッズの販売なども行う。業務内容は時期により変わるため、多岐にわたる。カフェ業務全般、製菓・製パン製造業務、レンタル受付対応、グランピングサイト運営管理、特産品商品企画開発(柚子)、農作業など。本人の能力、やる気に応じて新規プロジェクト等への抜擢もあり。年齢不問、明るく元気でやる気のフルタイムスタッフは能力、勤務状況により社員登用制度あり。奥多摩町、青梅市、羽村市その他青梅線沿線在住者優先。

- 募集職種／カフェ、製造
- 募集人数／1〜2名
- 勤務地／氷川702 氷川キャンプ場内
- 雇用形態／フルタイム、週末限定アルバイトスタッフ
- 給与／フルタイムは月給制。当社勤務規定に準ずる
- 賃金／アルバイトスタッフは、時給1100円〜 ※飲食店経験・スキル等に応じて決定、勤務状況に応じて昇給あり。
- 勤務日数／当社勤務規定に準ずる(土日祝勤務可能な方のみ)、週末限定アルバイトスタッフは毎週入れない場合も応相談(月3日程度の勤務でもOK)
- 勤務時間／9時〜17時30分ほか ※日によって勤務時間の変更・短縮・延長する可能性あり。 ※週末限定アルバイトスタッフは、勤務時間の調整は応相談。
- 待遇・福利厚生／往復交通費は上限1300円まで支給。社会保険完備(健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入)

問い合わせ：合同会社クアラ
担当：宮村・東 tel.090-3518-2516
info@cafekuala.jp

ごはん cafe やませみ

奥多摩湖畔にある公園「山のふるさと村」内にあるレストランにて、シーズスタッフ募集。フロアやカフェカウンター、調理補助をお願いできる方募集。お友達同士やWワークも歓迎。

- 募集職種／フロア、カフェカウンター、調理補助
- 勤務地／ 東京都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村内 ごはんcafeやませみ
- 雇用形態／パート
- 勤務時間／10時～16時30分の間で応相談。
- 勤務日数／繁忙期の土日を中心に月2回からでもOK。火・水定休(ただし、8月、11月は火曜のみ)
- 賃金／時給1080円～(試用期間概ね3か月、その後昇給あり)
- その他／ 自家用車・バイク通勤可 従業員駐車場あり、通勤補助として奥多摩町内 500円/1勤務、近隣市町村～1500円/1勤務

問い合わせ：ごはん cafe やませみ
担当：内田陽子 tel.0428-86-2552

カフェレストラン SAKA

就労継続支援B型のカフェレストラン。奥多摩の森の自然の中で育ててきた椎茸や野菜をふんだんに使用し、ハンバーグやパスタなどのランチメニューを提供。障害をもった人たちと一緒に働いてくれる方を募集。

- 募集職種／調理、接客
- 募集人数／若干名
- 勤務地／海沢564
- 雇用形態／アルバイト
- 賃金／時給1072円
- 勤務日数／週1～3日、土曜、祝日勤務できる方優遇、日・月曜休み
- 勤務時間／8時30分～15時30分の間で応相談
- 待遇・福利厚生／交通費支給、賞与あり

問い合わせ 社会福祉法人ふるさと福祉会
東京多摩学園 担当：鈴木
tel.0428-83-3402

そば・うどん 丹三郎

JR古里駅より徒歩10分の古民家で、二八蕎麦を提供する蕎麦屋兼うどん店。こだわりの詰まった空間で、一緒に働いてくれる方、募集。

- 募集職種／接客全般、調理補助、清掃
- 募集人数／1名
- 勤務地／丹三郎260
- 雇用形態／パート
- 賃金／時給平日1100円、土日祝1150円
- 勤務日数／週2～3日、土日祝勤務できる方
- 勤務時間／9時30分～16時30分
- 待遇・福利厚生／交通費支給

問い合わせ そば・うどん 丹三郎
担当：黒住耕太 tel.0428-84-7777
tanzabro.soba@gmail.com

双葉会診療所

外来、発熱外来、特養での診療、訪問診療などを行なう診療所。入院設備は小規模なものの、特養利用者や地域の方で治療が必要な場合に受け入れている。入院患者の生活援助員、看護職員を募集。

- 募集職種／生活援助員、看護職員
- 募集人数／若干名
- 勤務地／海澤500
- 雇用形態／パート、正社員
- 給与／当社勤務規定に準ずる
- 勤務時間／9時～16時、夜勤ほか

問い合わせ：双葉会診療所
担当：片倉和彦院長 tel.0428-83-3454

大丹波川国際虹鯉釣場

自然豊かな大丹波川の溪流に設けられたフィッシングセンター。町内在住者で、働いてくれる方を募集中。

- 業務内容／魚の放流、内臓処理、河川整備、貸し竿仕掛けつくり、接客対応、場内清掃、厨房補助ほか
- 勤務地／大丹波114
- 雇用形態／正社員(50歳くらいまで)、パート(60歳くらいまで)、アルバイト(60歳くらいまで)
- 勤務時間／7時30分～16時30分の間で応相談。
- 勤務日数／応相談 ※土日勤務できる方
- 給与・賃金／当社規定による。正社員は月給制、アルバイトは日給制、パートは時給制。
- その他／正社員は社会保険制度あり

問い合わせ 大丹波川国際虹鯉釣場
担当：須崎(場長) tel.0428-85-2235

株式会社ミゲル

書籍や雑誌、小冊子、WEBメディアなどの制作を行う、奥多摩町内にある編集・制作プロダクション。経営全般を手伝ってくださる方、文字おこしや編集補助を手伝ってくださる方、募集。

- 業務内容／経理、編集補助ほか
- 場所／リモート(自宅)ほか
- 雇用形態／業務委託契約
- 賃金・給与／当社規定による

問い合わせ 株式会社ミゲル
担当：曾田 miguel@dg8.so-net.ne.jp

02
習い事・教室編

奥多摩剣道会

剣道を通して、心と身体を鍛えよう!老若男女、初心者から経験者までどなたでも大歓迎。見学自由。

- 活動日／火曜、金曜
- 場所／氷川小学校体育館(火曜)、古里小学校体育館(金曜)
- 時間／19時頃～21時頃(※変更あり)
- 会費／月500円(スポーツ安全保険料含む)
- その他／剣道着、竹刀、防具等貸与

問い合わせ 奥多摩剣道会
担当：大澤由香里(庶務)
tel.090-1453-5899

ぐうす

奥多摩町で活動しているバドミントンクラブ。楽しくプレーできる方ならどなたでもOK!

- 活動日／水曜、土曜
- 場所／奥多摩中学校体育館
- 時間／19時30分～21時30分
- 会費／月500円程度(シャトル代として)

問い合わせ ぐうす 担当：小峰
tel.0428-83-3222

奥多摩アマチュア無線クラブ

経験者はもちろん、これから始めてみようと思う人が集まった地域に根ざしたクラブ。情報交換会や、小中学生を対象とした「電子工作教室」、電波を通じての「オンエア・ミーティング」、「技術講習会」など独自の活動を実施。さらに、「奥多摩ふれあいまつり」へ参加して「公開運用」の実施、警視庁青梅警察署と「アマチュア無線による災害情報の提供(連絡)に関する協定」を結び、万一の災害発生時に備えて「非常通信訓練」を実施するなど、地域に役立つボランティア活動を行う。

- 活動日／月1回程度、各種行事
- 場所／町内および関東周辺地域
- 入会金／正員(無線従事者の免許証を持っている方)…無料 准員(正員以外の人)…無料
- 年会費／正員3600円(高校生以下1800円) 准員1800円(高校生以下1200円※入会後一年間無料) 家族会員(家族が正員・准員になっている人)1200円

問い合わせ 奥多摩アマチュア無線クラブ
担当：堀口利明 tel.090-4121-7834

玉川書道教室

南氷川生活館にて、書道のお稽古を開催。書道の基本(毛筆・硬筆)から、臨書・創作など、小学生から大人まで楽しく学ぶことができる。

- 活動日／月曜(月三回)
- 会費・時間ほか／詳細はお問い合わせを

問い合わせ 玉川書道教室
担当：江藤栄子 tel.042-554-5891

奥多摩町体育協会卓球部

小中学生、初心者への指導を含む愛好家による卓球練習を実施。町民卓球大会の開催(春、秋)、ジュニア講習会や指導講習会の開催、対外試合への参加(都下卓リーグ観戦等)。その他、町外チームと交流練習試合、親睦会などを行う。

- 活動日／火曜、木曜
- 場所／奥多摩文化会館
- 時間／19時30分～21時30分
- 会費／月額高校生以上300円(ボール代等)、小中学生は無料

問い合わせ 奥多摩町体育協会卓球部
担当：宮崎洋一(090-8431-0402)、
滝島君子(090-4747-6897)

奥多摩モノクローム風景画教室

朝日カルチャーセンターなどで講師を務める、奥多摩在住のペン画家・師岡正典さんが主宰する教室。鉛筆またはペンを使ってモノクロの風景画の描き方を習い、制作する。教室の生徒を募集中。ペンアートについての詳細は、モロペンアートのブログ(https://ameblo.jp/commal3/)と、師岡さんの著書「はじめてでも描けるペン風景画」(マル社出版)を参照のこと。

- 開催日／第1、第3木曜(月2回)
- 場所／奥多摩文化会館内、美術工芸室
- 時間／9時30分～11時30分
- 対象年齢／大人
- 授業料／3か月 6回 13,000円

問い合わせ 師岡正典
penart.okutama@gmail.com

カヌースクール グラビティ

多摩川をベースに活動するカヌースクール。奥多摩の白丸湖でカヤック道具一式をレンタルできる。レンタル会員募集。自由に乗りたい放題なので、夏の早期や午後の時間に、気が向いた時に散歩するように白丸湖を楽しんでみては?

- 年会費／19000円(町民限定価格)
※通常は25000円 ●場所／白丸湖

問い合わせ カヌースクール グラビティ
担当：後藤めぐみ tel.0428-76-0981
gravity510@gmail.com

奥多摩町体育協会ソフトボール部
海沢ソフトボールチーム

ソフトボール愛好者が大集合。スローピッチ試合、ファーストピッチ試合を開催。

- 活動時間／春季(4、5月)秋季(9、10月)8時～15時
- 活動場所／登計原総合運動場、氷川小学校校庭
- 対象年齢／ファーストピッチ16歳以上、スローピッチ35歳以上
- 年会費／個人3000円 ※チームとして「奥多摩町体育協会ソフトボール部」に参加・登録したい場合は、1チームにつき春秋各1万円

問い合わせ 海沢ソフトボールチーム
担当：大澤新次監督 tel.090-4362-6876

スコープひとつでめぐる水講座

土の中での水や空気の動きを観察しながら、小さなスコープで整えて、周りの環境を良くしていくための技術を学ぶ講座。3名集まれば、リクエストベースで講座を開催。家の周り、畑、山林など、場所はどこでもOK。庭のぐずぐずやぬかるみに困っている方など、お気軽に。

- 参加費／3000円 ※参加者3人以上で開催
- 場所／どこでもOK

問い合わせ 担当：後藤めぐみ
tel.0428-76-0981
gravity510@gmail.com

まちライブラリー リマーニ

自宅の庭で苔を育て、そこから作品を生み出す苔アーティストの高瀬子さん。そのアトリエに、景色も楽しめる立ち寄れるガーデンライブラリー(無料)があり、見学者募集中。奥多摩にある四番目のまちライブラリー。山野草や苔の庭で楽しむガーデンライブラリーなので、戸外が気持ちのいい時期の5月から10月の不定期オープン。苔玉、テラリウム作りは有料。

- 開催日／5月から10月の不定期開催。
- 今シーズンの第一回は、5月20日(土)の13時～16時 ※雨天時は中止
- 場所／海沢855-9

問い合わせ リマーニ
担当：高橋任子
tel.0428-78-0320 ※開催時間中のみ

移住者コミュニティ &
ボードゲーム会

2020年に奥多摩町に移住した原田有佳里さんが企画。移住者コミュニティは、奥多摩に移住した人を対象に立ち上げた、新しいコミュニティ。町のことやお互いのことを知ることを目的に、毎月異なる企画を開催予定。地域の仲間を見つたり、地域活性の種を見つたり、気軽にご参加を。ボードゲーム会は、町内外問わず、参加者募集。

- 活動頻度／月各1回予定
- 場所／古里某所(原田さん自宅)、町内各所

問い合わせ 担当：原田有佳里
info@okuenishi.com

キッズダンスレッスン

2022年にスタートした、奥多摩町内の子どもたちを対象にしたダンスレッスン。ダンス教室がない奥多摩に講師を呼び、4歳から楽しめるレッスンを開催。音楽に乗って体を動かしたい、おもいっきり表現したい、あたらしい友達をつくりたいなどなど動機はなんでもOK。初めての方大歓迎。月2回、隔週月曜に開催。

- 対象年齢／4歳以上、親子での参加もOK
- 参加費／1回500円(講師代、会場費として)
- 場所／奥多摩町福祉会館、奥多摩文化会館ほか

問い合わせ だれでもアーティストわくわく
担当：黒木絵麻 tel.090-8083-6888
kujiraema@icloud.com

03
ボランティア・地域活動編

コードフォーオクタマ

奥多摩エリア内でデジタル技術の振興を目的にする非営利団体。クリエイターの交流イベント(ハッカソン)の企画・運営や、プログラミング教育の普及活動、市民活動のデジタル面からの支援などを行っている。町内の施設を使用して3日間でゲームを開発する「グローバル・ゲームジャム奥多摩」を2年連続で開催した。活動を積極的にサポートしてくれるプログラマーを募集。

- 場所／留漕1237 旧小河内小学校 用務員室

問い合わせ 担当：濱田隆史
c4oktm@gmail.com

奥多摩日帰り woofers

奥多摩町海沢にある畑付き古民家で、農作業を手伝ってくれるサポーターを募集。奥多摩在住歴20年の中里浩さんが本業の仕事の傍ら、手掛けている畑で年間多種多様な野菜を栽培。ただ、畑自体が広大なため作業時間を要すること、本業が忙しい時に人手が足りないことから、種まき、雑草取り、作物の収穫、畑の片付け、土づくりなど、不定期で作業と一緒に手伝ってくれる人を募集。欧米では馴染みのあるWoofers制度を参考に、数時間から半日程度の作業を手伝う代わりに、畑で採れる野菜を使った簡単な食事や軽食を提供。

- 募集方法／SNSにて随時発信、募集受付
- 対象／奥多摩町民だけでなく近隣の方、畑に興味のある方など

問い合わせ 担当：鈴木里華
okutamawoofers@gmail.com

奥多摩消防少年団

消防少年団では、新入団員を募集中。消防の仕事や火災予防について学んだり、様々な広報活動を行っている。防火防災に関する知識や技術の習得はもちろんのこと、集団行動を通して規律や仲間への思いやりなどを学ぶことができる。

- 活動日／月1回(土曜か日曜)※規律訓練、ロープ訓練、救急訓練、火災予防に関する知識・技術の習得など
- 入団資格／小学校1年生から6年生まで ※中学生になっても希望者は準指導者として活動できる
- その他／制服等無料貸出

問い合わせ 奥多摩消防署防災救急係
消防少年団 担当：高橋・矢田
tel.0428-83-2299

移住者・定住者



募集中!

豊かな自然環境に心惹かれ、都会から移住する人が増えている奥多摩町。町では、暮らしをサポートするさまざまな定住＆移住支援・応援を実施。多彩な物件紹介制度があるので、ぜひ活用を。物件情報などの詳細は、奥多摩町ホームページへ。

賃貸も 売買物件も いろいろ!

空き家バンク

賃貸・売買の物件情報が揃う「奥多摩町空家バンク」。奥多摩町に定住を希望される方に対して、町のホームページで情報を紹介するシステム。空家バンクの利用には、登録が必要。また、若者世帯の定住促進を目的とした、若者世帯向けに特化した空家バンク制度「奥多摩町若者用空家バンク」も。35歳以下の単身世帯、45歳以下の夫婦、子ども(中学生以下)がいる世帯のいずれかに当てはまることが利用条件となる。

高校生以下の 子どもが いる世帯なら!

いなか暮らし 支援住宅

いなか暮らし支援住宅とは、奥多摩町内における若者定住促進ゾーン(奥多摩町役場周辺、奥多摩町管内のJR青梅線駅周辺)以外にある空家を活用した格安借家住宅。住居として15年間以上継続で定住した場合に、譲与される。若者定住応援住宅とは、年齢条件が異なり、45歳以下の夫婦あるいは、高校生以下の子どもがいる世帯が対象。年間の使用料相場は、1千円～4万円(建物の評価額により決定)。

定住を見据えて まずは賃貸!

町営若者住宅

町に永住する第一歩にしてもらうためのサポートとして、一般的な住宅よりも低額な家賃設定で利用できる若者住宅を町内13か所に用意。一か月の家賃相場は、2万～3万3千円(※過去の相場。立地条件により使用料は異なる)。年齢要件は、40歳以下の夫婦(世帯主の年齢)、50歳以下の者で中学生以下の子供がいる世帯。

22年間住めば 無償で住宅譲与!

町内子育て応援住宅

「子育てしやすい住宅」をコンセプトに町が用意した戸建て物件を、永住を考えている子育て世帯を対象に、22年間の定住でなんと無償譲与する制度。月の使用料は、5万円(※中学生以下の子ども一人につき5千円減額)。以下の両方に該当することが条件となる。43歳以下の者で中学生以下の子どもがいる世帯、地域活動に積極的に参加すること。

15年間住めば 無償で住宅譲与!

若者定住応援住宅

若者定住応援住宅とは、奥多摩町内における若者定住促進ゾーン(奥多摩町役場周辺、奥多摩町管内のJR青梅線駅周辺)にある空家を活用した格安借家住宅。住居として15年間以上継続で定住した場合に、譲与される。年齢要件は、40歳以下の夫婦あるいは、中学生以下の子供がいる世帯。月の使用料相場は、6千円～1万3千円(建物の評価額により決定)。

問い合わせ

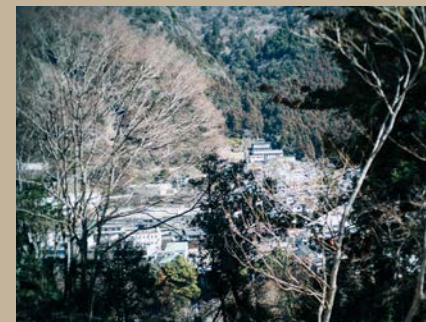
若者定住推進課 若者定住推進係 TEL 0428-83-2310 FAX 0428-83-2344

奥多摩町に 暮らす

自然がいちばん濃いTOKYO

都心から約1時間半、東京最西端に位置する奥多摩町。近年、自然豊かなこの町に、移り住む人が増加中だ。自分らしい生き方を謳歌する移住者へのミニ・インタビュー。

【ミニ】 秋山拓実さん・尚子さんファミリー



バックパッカーとして世界一周旅行中に会ったというふたりは、帰国、結婚、出産という大きな出来事を経て、奥多摩町に辿りついた。2歳の娘、うたちゃんと共に町営若者住宅に暮らす、秋山拓実さん・尚子さん夫妻だ。ももとは子育てする場所として、海外も視野に入れていたというが、コロナ禍に突入。そんななか、移住・定住支援が充実する奥多摩町の存在を知り、観光がてら来町。緑豊かな環境と、子育てや定住にまつわる手厚い支援制度に惹かれ、移住することを決めたという。大学講師を務める拓実さんは、毎日約2時間かけて通勤。WEBデザイナーの尚さんは自宅勤務。そして、うたちゃんは、家から徒歩5分の保育園に通っている。「待機児童もなく、優しい先生たちばかりが目が行き届いている。少人数制だからか、異年齢の子どもみんなが声をかけてくれて、アットホームな雰囲気が好き」と尚子さん。メゾネットタイプの町営若者住宅は、雄大な山並みを望む見晴らしの良さが気に入る。自宅の前のスペースで今年からはミニ菜園もスタートする計画だ。「環境はもちろん、人の良さが奥多摩の魅力。いずれは、町内で理想の住まいを見つけ、そこで1日1組限定の民泊をやりたいと思っているんです。せっかくの観光地なので、海外のお客さんと家族ぐるみで触れ合うことができたら、楽しいだろうなって」と、拓実さん。旅好きなふたりがこの町で紡ぐ未来は、ワクワクで満ちている。



— Welcome to —

OKUTAMA
TOWN

東京の森へ移住定住のススメ

都下での生活と自然豊かな環境を両立する奥多摩町では、移住・定住者を迎えるために、さまざまな支援を行なっている。住宅支援や子育て支援制度も充実しており、ファミリー世帯にも暮らしやすい町だ。

移住・定住応援補助金

奥多摩町では、次代を担う若者等の定住を応援するため、定住を目的として住宅の購入・リフォーム等をした方に対して、事業費10万円以上で、事業費の1/2以内、最大200万円の補助金を交付します。事業補助金の限度額200万円を超えて、次の条件に当てはまる場合は、町内で使える各々10万円ずつの商品券を上乗せして補給します。
1) 奥多摩町内に所在する事業所等に事業を依頼した場合
2) 壁、床等に地場木材(多摩産材)を10㎡以上使用した場合
◎年齢条件 以下の方を対象にしています。
●45歳以下の夫婦 ●18歳以下の子どもを持つ世帯
●35歳以下の方

その他

いなか暮らし支援住宅、空家バンク制度、安く家が借りられる町営若者住宅、多子家庭の助成制度など、ほかにも定住および子育てにまつわるさまざまな支援を行っています。

お問い合わせ：奥多摩町定住応援総合窓口 Tel.0428 83 2310 <http://www.town.okutama.tokyo.jp>

住宅資金借入の利子補給

奥多摩町に定住を目的とした住宅の購入・リフォーム等をされた方に、金融機関などからの資金借入に対する利子補給を行っています。条件は、400万円以上の融資を受け、償還期間が10年以上であること、町内金融機関を利用の場合は、最大年額33万円まで補給します。給付期間は36カ月。
◎年齢条件 以下の方を対象にしています。
●45歳以下の夫婦 ●18歳以下の子どもを持つ世帯
●35歳以下の方

子育て支援

子育てのしやすい町をめざし、町独自で15項目の子育て支援事業を行っています。入園・入学・進学等の支援や、保育料をはじめとした学校給食費、中学制服代、高校生通学定期代など、子育てを頑張っている方への負担を軽減するための助成があります。また、都の制度を拡充し、所得基準を超えた世帯にも医療費を全額助成します。

Edit: Yukiko Soda [miguell] Miguel Utsunomiya [miguell] Art direction: Atsushi Kodani Illustration: Toshiyuki Hirano

発行: 東京都奥多摩町 <https://www.town.okutama.tokyo.jp> 編集&制作: 株式会社ミル 〒198-0101 東京都西多摩郡奥多摩町大丹波640 miguell@dg8.so-net.ne.jp <http://www.miguell-web.info>
2023年3月発行 本誌は奥多摩町内の各観光施設、JR青梅線各駅構内、協力店などで配布しています。店頭などで無料配布にご協力いただける施設を募集中です。ぜひお問い合わせください。

